

「エコチル調査」を応援しています。

滑川市長 上田 昌孝



滑川市でも「エコチル調査」への参加者が、多くおられることを、嬉しく思います。「エコチル調査」は、滑川市長の私にとって、政策上の中心課題そのものと感じます。

私は、滑川市の食育推進本部長として、子どもと親のための「子ども政策」として食育事業はもちろん、環境問題やビオトープの取組みなどにも向き合っています。

「エコチル調査」は長期間にわたり子どもとその親の調査を続けるという大変な作業ですので、その結果には大変期待を寄せているところであり、最終結果のみにとどまらず、調査途中に見えてくるものや、それらへの対応についても大きな関心を持っています。

さて、日本人の若い女性（20代、30代）は鉄分が不足していると耳にしますが、若いお母さんの鉄分が不足しているということは、一緒に食事をする子どもも鉄分不足になっていないか心配です。妊娠、授乳期や育児中の女性には特に、本人のみならず、子どもや家族の健康のためにも食の大切さについて自覚し、正しい食生活習慣を身につけて欲しいと感じます。

また、高齢になると、骨粗鬆症になる女性や大腿骨骨折になる方が多くおられます。それらの治療には長い時間を要し、それが原因で出不精になり、寝たきりになると健康寿命が短くなります。これらの予防のためにも幼少期からの家庭での正しい食育の啓発が大変重要と感じます。

また近年、食の安心・安全が脅かされ、食品添加物などの化学物質による人体への影響が大変心配です。地場産食品、有機食材への関心を深め、皆さんには自らの判断で正しく選択する能力を高めていただきたいと思います。

エコチル調査が、大切な子どもたちを守る、良い方向へと進展することを期待しています。解析結果から、「では、どうする」と一緒に考えていきましょう。応援しています。

平成26年8月